

令和2年5月25日

学校は素敵だ・・・



分散登校という形で、先週から徐々に学校を開き始めました。今週から、もう少し窓口を広げていきます。まだトップスピードには程遠い状況ですが、少しずつ少しずつ・・・（詳しくは、本校ホームページのトップ面をご覧ください）。

先週末、分散登校日の校門で。

「おはようございます!」、 「元気だったか・・・」。マスク越しに久しぶりの会話が飛び交います。何人かの先生方と一緒に皆さんを出迎えている時のある先生の呟き。

「やはり学校は生徒がいてこそですね・・・」

多分その先生には気づかれなかったと思いますが、最近涙腺が緩みがちな私は、思わず涙ぐんでしまいました。

前任の取手一高での話です。突然休校となってしまった3月にも同じようなことを思いました。月半ばにあった次年度の教科書販売の際に久しぶりに校長室から見る風景。そこには多くの笑顔があり、笑い声がありました。「あー、学校はいいな」と心の底から思いました。

こんな、当たり前風景が消えてしまうことが、ついこの前まで信じられませんでした。久しぶりの何気ない先週末の登校風景がとても愛おしく、そしてかけがえのないものと思えたのです。帰り際もなかなか帰りがたらない生徒の皆さんに「早く帰れよ・・・」とは言えませんでした。

さだまささんのコンサートでの、さださんのこんな言葉が耳に残っています。

「学校は勉強をするところではない。勉強をする方法を学ぶところだ」。さださんの恩師の先生の言葉だそうです。この状況下、改めてかみしめたいと思います。

そしてこの言葉の最後に、次の言葉を付け加えたい。

「学校は素敵だ・・・」